

【学校運営協議会の委員の皆様からの御意見と学校としての対応】

学校運営協議員様からの御意見	学校としての対応
<p>地域外で見知らぬ人々の集団の中にいると、委縮してしまう子どもたちもいる。自己肯定感を高め、自分に自信を持ち、どのような時と場でも胸を張って自分を誇れる子どもを育ててほしい。</p>	<p>人権・同和教育や道徳科の学習を通して、多様な考えに触れ、自分にしかない良さ、他人にしかない良さを知ること、自己肯定感を高める支援を行って来ました。今後も、自分らしさに気付き、自己肯定感を高める支援を続けていきます。</p> <p>また、複式学級の良さを生かし、児童が交代で学習リーダーを務めることで、児童個々のリーダー性が育ってきています。リーダーとしての資質を育てることで、自分に自信を持ち、自分を誇れる児童を育てることができると考えます。これからも、この学習リーダーの仕組みを生かして、子どもたちのリーダー性を育てていきます。</p>
<p>気持ちの良い挨拶ができています。今後も、このような挨拶ができる子どもを育ててほしい。</p>	<p>学校評価からも進んで挨拶ができる児童が増えてきています。今後も、気持ちの良い挨拶ができる児童を育て、時と場に応じた挨拶ができるように指導を続けていきます。また、相手の気持ちに寄り添った言葉遣いができるように、日常的な言葉遣いについても継続的に指導をしていきます。</p>
<p>下灘地区を誇りに思い、下灘地区のために行動できる子どもを育ててほしい。そのことが、下灘地区の活性化にもつながる。そして、下灘小学校を将来にまで残してほしい。</p>	<p>学校運営協議会も設置され、地域と学校の密接な連携が可能になってきました。学校運営協議会を通じて、学校行事や集会等に地域の方が御参加いただけるように働き掛け、児童が地域の方と共に活動し、地域の一員としての自覚を醸成していきたいと考えます。</p>
<p>多くの人と交流することで多様な価値観に触れることを大切にするとともに、本（漫画も含めて）を読むことでも多様な価値観に触れさせ、創造性の豊かな子どもを育ててほしい。</p>	<p>地域の方だけでなく、いろいろな分野で活躍されている専門性を身に付けた方との交流の場を充実させることで、多様な価値観に触れる機会を増やしていきます。また、本の紹介や読み聞かせ等の読書活動を充実させることで、児童の視野を広げ、新たな知的発見を得る機会を増やしていきます。</p>